

## 発 言 通 告 書

|         |                       |
|---------|-----------------------|
| 発言者氏名   | 中川さおり                 |
| 発言の会議   | 令和7年 9月18日 本会議        |
| 発言の種類   | 質 疑、一般質問、緊急質問、討 論、その他 |
| 質疑等の方式  | 一 括、一問一答              |
| 答弁を求める者 | 市 長、教育長、選挙管理委員会事務局長   |

### 【件名及び発言の要旨】

#### Ⅰ 公平で持続可能な選挙運営の実現について

(1) 投票や周知のデジタル化を進めれば、有権者の利便性向上だけでなく、紙ごみ削減など環境面でのメリットも大きい。こういった課題をどう認識しているのか伺う。

(2) 選挙ポスター掲示の公平性と効率性について

ア 市内には596か所の選挙ポスター掲示板が設置される。掲示作業はボランティアの数によって大きく差が生じ、不平等を生んでいる。この現状をどう受け止めているのか、また、改善を検討する考えがあるのか伺う。

イ 掲示板の設置場所が高すぎて貼付困難なケースもあり、多様な候補者を受け入れる体制になっていない。設置基準を見直す考えはあるのか伺う。

(3) 個人情報保護と多様な立候補環境の整備について

ア 立候補に際し提出を求められる個人情報は、その開示に関わらず、必要な項目か。一方、学歴は証明書提出が不要となっており、他の自治体に見られるような学歴詐称の問題も発生する。バランスをどう考えるのか伺う。

イ 選挙ポスターには掲示責任者の住所を記載する必要があるが、住まいを公にさらすことに抵抗を感じる者にとっては選挙活動の障害となり得る。多様な人材が安心して立候補できる環境を整える観点から、どのように考えるのか伺う。

## 2 市の広報機能と内部統制について

### (1) 市長記者会見について

ア 現在は毎月1回の定例記者会見のみで、市政を広く一般へ十分に伝えているとは言い難い。記者から開催要望があった場合、市は柔軟に応じているのか。市長にとって記者会見はどのような位置付けなのか伺う。

イ 市のユーチューブチャンネルでは、市長発表部分のみ公開され、他の自治体では公開されている記者との質疑応答は非公開となっているが、その理由を伺う。今後、市民に開かれた広報を実現するため、公開方法を改善する考えはあるのか併せて伺う。

(2) 本年6月に報道された市長の多重交通違反について、市長が秘書課へ直ちに報告できなかった点は、内部統制が機能していないとの市民の指摘がある。行政ガバナンスの観点から、市長はどのように考えているのか。また、再発防止に向けた改善策を講じる考えがあるのか伺う。

## 3 地価上昇による市民負担増とその還元について

(1) 市長は地価上昇を「市の成長の追い風」と表現しているが、売却益を得る人や自治体財政にとっては有利でも、住民にとっての税の負担増や移住のハードルにつながっているとも言える。市長の発言に不安を感じる市民もいる状況について、どのように考えるか伺う。

#### 4 自転車安全教育の強化について

- (1) 2026年4月1日から、自転車の交通違反に反則金を科す「反則通告制度」が16歳以上を対象として施行されるが、市としてどのような周知を行う予定か伺う。
- (2) 現在、小中学校での自転車教育はどのように行われているのか。また、今後さらに教育強化を検討する考えがあるのか伺う。
- (3) 市内に新たな交通公園を整備する計画があるのか伺う。

#### 5 市営駐輪場の環境改善と利便性向上について

- (1) 駅隣接の駐輪場は通勤・通学に不可欠なインフラであるにもかかわらず、19か所には屋根が設置されていない。天候に左右されず安全・快適に利用できるよう、屋根設置の拡充を直ちに検討する考えがあるのか伺う。
- (2) 設備環境に差があることで不公平感を抱く市民の声を認識しているか。また、利用者の公平性確保に向け改善を検討する考えがあるのか伺う。

#### 6 米軍関係車両の交通安全教育の必要性について

- (1) 米軍に対する申入れの状況について
  - ア 昨年9月18日の死亡事故発生後には市長特命参与が、今年4月27日の事故発生後には市長が申入れを行ったという報告を受けている。これ以外に、政府など他のルートからの申入れは行われていないのか伺う。
  - イ また、昨年11月22日の原子力空母ジョージ・ワシントン入港時、市長は艦内スピーチで「ルールを守り高い意識とモラルある行動」を求めたとのことだが、9月の死亡事故や交通安全そのものについて直接触れたのか伺う。
- (2) 交通安全教育の進捗について
  - ア 市や警察は、これまでも米軍側と交通安全教育について取組を進

めてきたと聞いている。一方で、4月28日付の市の報道発表によれば、米海軍横須賀基地司令官は「交通教育には常に真剣に取り組んでいるが、足りない部分もあるかもしれないので、市と共同で必要な教育を検討したい」と述べたとのことだが、その後、具体的にどのような検討や取組が進んでいるのか伺う。

イ 米軍の事件事故対応プロトコルでは「まず上官に連絡」とされているようだが、基地外で発生した人身事故においてこれは不適切である。最優先は人命救助であり、救急への連絡が第一であるはずだ。市としても米軍に対し、この点を徹底するよう求めていく考えがあるのか伺う。

(3) 情報把握と遺族への対応について

ア 市が把握している米軍関係者の交通事故は、人身事故だけでなく物損事故も含むのか。また交通事故以外の事件・事故について、市はどの程度把握しているのか伺う。

イ 4月28日の報道発表の最後に、その他として「市長から、今後、遺族への対応についても誠意をもって行うよう要請した」と記載されている。その後、遺族へどのような対応がされたのか、確認されているか。

## 7 メンタル医療体制の不足と改善について

(1) 人口10万人当たりの精神科系診療所数は全国平均5.91に対し本市は3.87と全国的に見ても少ないと思われるが、市の認識と今後の改善策を伺う。

(2) 新設された総合医療センターの精神科が現在「もの忘れ外来」に限られている現状をどう受け止めているのか。今後、改善に取り組む考えがあるのか伺う。

## 8 加齢性難聴と補聴器利用促進について

(1) 加齢性難聴が認知機能や社会的孤立、心の健康に悪影響を与えることは明らかであるが、市はどのように認識しているのか伺う。

- (2) 補聴器利用の支援について、市はどう対応していくのか。

## 9 正規雇用の拡大と雇用の安定について

- (1) 市役所の中でさえ非正規雇用が多い現状を、市長はどう認識しているのか。今後、正規雇用拡大へ転換する考えがあるのか伺う。
- (2) 市民が望むのは非正規雇用ではなく、正規雇用による安定した生活基盤である。市長はこの課題をどう受け止め、市内の正規雇用拡大と雇用安定の具体策を検討する考えがあるのか伺う。